

近大・医: 推薦: 化学											
		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	予想	
有機化合物	芳香族化合物	48	ベンゼンと誘導体								
		49	フェノールと誘導体				○3	○3			
		50	芳香族カルボン酸と誘導体	○3				○3	○3		
		51	芳香族アミンと誘導体	○3				○3			
		52	有機混合物の分離					○3			
		53	検出反応・呈色反応					○3			
化学結合と物質の状態	化学結合	54	主な結合と結晶格子					○2限	○2黒鉛		
		55	結合エネルギー								
		56	電気陰性度								
		57	配位結合								
		58	分子間力と水素結合					○2融点沸点			
		59	結晶構造, 密度と計算			◎2		○2水			
	物質の三態	気体	60	物質の三態変化		◎2	気体分子の平均速度	○2	状態図		
			60	ボイル・シャルルの法則							
			62	気体の状態方程式			○2		○2		
溶液	溶液	63	混合気体と分圧								
		64	理想気体と実在気体								
		65	溶解の原理								
		66	固体の溶解度								
		67	気体の溶解度								
		68	沸点上昇等, 浸透圧								
反応の速さと平衡	反応の速さ	69	コロイド溶液の性質								
		70	反応速度と速度定数								
	化学平衡	71	活性化エネルギーと触媒								
		72	化学平衡と平衡移動				○2				
		73	平衡定数								
		74	電離平衡, 電離定数	○2	○1				○1		
		75	pH, 水のイオン積	○2	○1				○1		
		76	緩衝溶液	○2						△	
77	塩の加水分解		○1					△			
78	溶解度積							△			
高分子化合物	合成高分子	79	合成繊維, 合成樹脂						○3PET		
		80	合成ゴムと天然ゴム								
	天然有機化合物	81	単糖類, 二糖類								
		82	多糖類								
		83	アミノ酸, ペプチド								
		84	タンパク質								
85	脂質										
86	核酸										
生命	生命の化学	87	酵素反応								
		88	代謝, エネルギー代謝								
2015年度予想		<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学反応式と量的関係は頻出である。 ・ 中和滴定は出そう。 ・ 有機は元素分析と脂肪族であろう。 ・ 化学平衡から緩衝溶液, 溶解度積になりそうである。 									